



# はなのき通信

2021年2月 発行 第147号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール [hananoki@aichinet.ne.jp](mailto:hananoki@aichinet.ne.jp)

## すべてはここから始まった。



水野順子さん 八木喜代子さん

世界の女性よ目覚めよ！ すべてはここから始まりました。

海外研修で仲間とふれあい、共に学び、異文化に触れ、はなのき会員は皆目覚めました。しかし外からの圧力で何とか男女平等を構築しようと日本社会はもがきましたが、諸外国の取り組みが進む中で我が国は取り残されたように歯がゆく感じます。



婦人週間の最初のポスター

平和の鳩と女性記号の等位＝を  
デザインしたもの

「はなのき」の2本柱は  
“男女平等社会の構築”と“国際交流・国際貢献”。

この大きすぎるテーマに挑み40年余、むしろ女性は生きづらくなっているのではないかと、世界は断絶の方向に向かっているのではないかと無力感を味わうこの頃です。

はなのき会員はこのテーマに常に向き合い、意見交換など進めていきたいものです。

「はなのき」の伝統は、何でも言える会の雰囲気です。総会でも役員会でも何事もなくシャンシャンと事無く終わる会ではありません。皆が意見を戦わせその中から落としどころを探っていく民主主義の原点を学びたいと思います。

「はなのき」の弱点は会員が県下に分散し、集まるのに時間とお金がかかること。コロナ禍でリモート会議が盛んになりました。それなりの機器を揃えることと技術の研鑽が必須です。女性は経済力に劣ります。自分のものは後回しとなりがちです。自分への投資も忘れずにいこうではありませんか！

<後記>2020年度は後期高齢者の水野順子・八木喜代子が西三河の幹事を担当させていただきました。役員さんも巻頭の著者がいなくてお困りになられた!!のか、お鉢が回ってきました。

それではと遺言としてしたためました。

2021年度

## あいち国際交流はなのき会 総会

日時：2021年4月17日（土）10:00~12:30 開場 9:50

会場：岩倉生涯学習センター研修室1・2

一部 総会 10:00~10:40

二部 ドキュメント上映・ワークショップ 10:45~12:30

10:45 ドキュメント上映『コロナ病棟4日間の記録』(30分)

米テキサス州 ヒューストン

11:15 ワークショップ

・コロナ禍において

・はなのき会の今後の活動について

11:45 バザー・フェアトレード（各自値札をつけて持ち寄り）

N2企画 マドレーヌお楽しみに！



※当日は、コロナ感染症対策をとって開催をしますが、完全とは申し上げにくいところです。会場に向かうまでの足どり等、気を付けられ体調管理に気を配られ、当日必ず体温を確認の上、お越しください。また、会場内では、マスク着用のご協力をお願いいたします。

## コロナ禍情報収集活動

名古屋ブロック 松原美恵子さん



橋本三枝子さん オーストラリア・パース在住15年。

稲沢出身 高校時代からの友人

西オーストラリア州では、感染者合計669人、回復者650人、死亡9人、オーストラリア合計では、感染者27,016人、回復者24,444人、死亡870人です。パースでは、早い対策で、今はほぼ平常に戻っております。私も3月から自粛、家にももっておりました。市内では路上生活者をホテルで2週間、全て政府の援助で保護、感染予防されました。飲食店、ジムも閉鎖、バスも本数を減らして、ガラガラで運行しておりました。

ここでは、マスク姿を見かけず、私も一度もしませんでした。学校も自主登校で、親はフェンスまで、中にははいれません。スーパーへの買い物も息子がしてくれまして、かえって楽させていただきました。土地の広いこちらでは、あちこちに公園がありそこには必ず子供たちの遊具があります。コロナ中は、ロープが張られて使わないようにしてありました。子供たちと高齢者に優しい国ですので、スーパーでは、朝8時からシニアカードを持った人達だけが入れました。どこのお店にも入口には消毒液がおいてあります。学校でも手洗いの仕方が表示されております。

メルボルンでは、感染者が多く、マスクをしないと、罰金200ドル、夜間外出禁止令でもでした。パースは、感染者も0が続き、お店も再開されて、ジムも開きましたが、サウナやスチームルームは、2人ずつ、10分と決められソーシャルディスタンスを守っております。

パースでは、早い対策と市民の自粛、協力により、今はほぼ平常に戻りましたが、今日からのスクールホリデーも、海外にも行けず、西オーストラリア州の中での移動となり、我が家の息子一家（息子夫婦と8歳の男子6歳の女子）は2泊3日のキャンプに行く予定、私は独居老人生活を満喫いたします。2020年11月収集

## ブロック活動 西三河より

テーマ 日本女性会議  
2020あいち刈谷  
に参加して

日時：11月13～15日 於：安城市民交流センターと個人宅

参加人数：12名 報告：八木喜代子さん 水野順子さん

コロナ禍での本大会はオンライン開催と決まりました。

三久会メンバーはまず水野順子宅に集まり、インターネットを利用したオンライン講座がZOOMアプリを使ってLIVE配信されるのを体験することから始めました。う～ん、これは新しい未来が開けると感じワクワクしました。そして各自が戸惑いながらもマニュアルを見ながらZOOMアプリをインストール、Zoom Meetingsに参加する方法を学びました。初心者はメールで届いた「URL」をクリックするだけ、二宗さんのご夫君の懇切丁寧なご指導でZoom操作ボタンを学び、何とか出来るようになりました。大感激でした！

女性会議初日、安城市民交流センターがサテライト会場となりここで参加することにしました。

期待は上野千鶴子氏の基調講演「コロナ禍とジェンダー」です。

- ①コロナ禍は今日のジェンダー課題を顕在化し、平時の矛盾を拡大・増幅してあらわれる。シングルマザーの窮状や女性が7割を占める非正規雇用者へのしわ寄せが大きい。DV・虐待増加や特別給付金の世帯主給付問題などなど。
- ②またまた下がった日本女性の地位。男女共同参画の実態では、政治、経済、教育、健康の四分野のうち、日本では政治、経済が酷いと説明。世界の女性議員割合 国別ランキング 147位 14.4%。  
[www.globalnote.jp](http://www.globalnote.jp) 雇用機会均等法の恩恵を受けたのは総合職の女性のみ。大半の女性は一般職、派遣社員に置き換えられ、稼ぎが悪く、暮らせないことが問題。日本よりひどい国はエストニアと韓国くらい。この30年間に格差社会は人為的につくられたと。
- ③新しい変化も見られる。在宅ワークで夫が家にいると誰が子どもの世話をするのか見える化される。通勤のある時代から職住一致になるかもしれない。男女の新しい働き方がはじまることもあるかも。
- ④コロナ禍は各国リーダーシップの違いを明らかにした。ドイツ、台湾など女性がリーダーの場合、パフォーマンスがよいと分かった。 ⑤どんな社会が欲しいのか＝超高齢社会ではみ～んな中途障害者になる＝弱者が弱者のまま尊重される社会を。お～～私はもう弱者です。よろしく願いいたします！！初めてのオンライン講座。家でひとり聞くよりみんなと一緒にいいな～と思いました。



上野千鶴子先生のお話



安城市民交流センターで受講の様子

# 反差別シトラスリボン運動

尾張ブロック  
報告 高田朝子さん



中日新聞 1月 22 日

愛媛県の有志たちが集って、かんきつ類のイメージをした色のリボンをシンボルにした、シトラスリボンプロジェクトの活動を今年1月に知りました。

この活動は、新型コロナウイルスに感染した人や、医療従事者などへの差別や偏見をなくし寄り添う気持ちを表現したもので、昨年4月に愛媛県で始まりました。早速情報を集め元々地域活動をしている江南市女性連絡協議会に持ちかけたところ、会員の皆さんは、こぞって賛成をいただき皆さんでこの運動を広めることになりました。



シトラスリボンの3つの輪は、  
①地域②家庭③職場または学校  
を表現しています。市内の医療従事者のお役に立つことが出来ればと寄付活動の予定です

## 会員の皆様

いかががお過ごしでしょうか。

<東三河ブロック 清水サチ子さん>  
コロナ禍の中、ボランティア活動は続けていました。河川の堤防の草刈りを月2回。9月までは、例年の敬老者への手作りプレゼントづくりを毎週1回。(今年は、マスクとマスクケースのセットを330人分) その後も、公共施設の利用が可能な限り毎週1回、料理・小物づくり・おしゃべりを楽しんでいます。(自粛生活の中、外出の機会が欲しいと...)

基本的には自宅で、土・日は農作業です👉  
Go To...には縁のない生活です。

## カンボジアに石鹸を！

<名古屋ブロック 松原美恵子さん 清水たま子さん>  
11月の運営委員会に諮って、すぐにメーリングリストで呼びかけました。12月中旬には、たくさんの石鹸とご寄付が寄せられました。まず、幹事の私たちが感動しました。そして、12月25日にEMSで歯科医院を開業して



施設スナーダイ・クマエの子供たち  
石鹸入 10kgの段ボールを持って

子供たちに手洗いと歯磨きを指導している平山恵理子先生と、児童養護施設を運営しているメアス博子さんに送りました。詳しくは総会で報告いたします。感謝。

(編集後記) 今年度は4回も発行できました(例年は3回です)。コロナ禍でもできる活動をと、当初、会長より呼びかけられました。それに会員の皆様にお応えいただきました。活動が縮小された一年でしたが、素敵な原稿がたくさん集まっております。通信作りでは先に原稿が集まっている状態で、大変スムーズでした。1年間ありがとうございました。書記一同(井上・浅井・向井)